

ポンプ操作をする消防団員



消防防災力のさらなる向上のために

◎鬼北町消防団夏季訓練

「鬼北町消防団(水野和昭団長、全7分団)夏季訓練」は7月31日、各分団で開催され、人員姿勢・服装の点検、ポンプ操作や連結訓練などが行われました。

また、今年は普段行う訓練の他に消防署員指導の下、救急救命訓練を行った分団や、操法大会を想定して、タイムを競ってポンプ操作を行った分団もあるなど、活発な訓練になりました。

搬送方法を教える消防署員



災害時に対応できる地域づくり

◎畔屋地区自主防災訓練

畔屋地区自主防災会(毛利和夫会長)は7月24日、防災訓練を開催し、鬼北消防署員から消火器の使用方法、けが人の搬送方法、応急手当の方法や地震発生の仕組みの説明を受けました。

訓練中、集まった43人の住民からは次々と質問が出るなど、災害に対する危機意識の高まりが伺えました。

この訓練は、南海地震などの大規模災害対策として開かれたもので、畔屋地区自主防災会としては初めての訓練となりました。

望遠鏡で星を見る参加者



夏休みの思い出に天体観測

◎親子天体教室

泉地区の子どもたち対象の「親子天体教室」は8月1日、泉小学校グラウンドで行われ、星を間近で見ようと集まった親子連れでにぎわいました。

この催しは、今年初の試みで、趣味で天体観測をしている長野修さん「小倉」が、「自分だけの趣味でとどめず、子どもたちにも体験してほしい」という思いから企画されたものです。子どもたちやその保護者らは、普段体験できない天体観測に、感動している様子でした。

町長と談話するトニーさん(写真中)



台湾からの短期留学生町長らと対談

◎ライオンズクラブ交流事業「世界はひとつ」

ライオンズクラブの「世界はひとつ」という交流事業で本町を訪れていたチェン・クワン・ハオさん「通称トニー・台湾」が7月25日、町長室を訪れ、甲岡町長らと対談しました。

トニーさんは、小学校3年の時から学習しているという英語で町長らと対談しました。会話の中で「鬼北町の印象は」と聞かれると、「人が優しい」と答える場面も。

この他にも、町内の観光、日本の文化の勉強、地元高校生との交流など、さまざまな体験をしました。